

熊本大学大学院自然科学研究科(博士前期課程)情報電気電子工学専攻  
熊本大学大学院自然科学研究科(博士後期課程)情報電気電子工学専攻  
機能創成エネルギー講座

学位論文審査基準

**Evaluation Criteria for Theses in Department of Frontier Technology of Energy and Devices, Field of Computer Science and Electrical Engineering, Graduate School of Science and Technology**

学位審査に当たっては、学位申請者が本学及び大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻人間環境情報講座の定める学位授与の方針を満たしていることを前提とする。また、学位申請者が学術研究における倫理性を有していることを条件とする。

As a prior condition to apply for a diploma, a candidate must satisfy all the requirements for the degree that are specified by the university and the Department of Frontier Technology of Energy and Devices, Field of Computer Science and Electrical Engineering, Graduate School of Science and Technology. A candidate is required to conduct his/her scientific research in accordance with ethical standards.

博士前期課程 学位論文審査基準

**Evaluation Criteria for Master's Thesis**

次の事項を全て満たしていること。

All of the following requirements must be satisfied.

1. 課題設定の明確化 (Definition of Issues)

明確な問題意識とそれを解決すべく研究の意義および必要性が述べられていること。

Accurate awareness of the issues as well as the purpose and necessity of the research to solve the issues must be mentioned in the thesis.

2. 先行研究・資料の取扱いの適切性 (Proper Treatment of Preceding Studies and Data)

当該分野の先行研究・資料の把握と言及に加え、それを踏まえた研究の位置づけがはっきりしていること。

Previous studies and data in the relevant research filed and positioning of this study in the field must be mentioned in the thesis with clear and correct understanding of them.

3. 研究方法の妥当性 (Appropriateness of Research Method)

研究の目的に適した研究方法が用いられていること。

Proper methods for attaining the research purpose must be used.

4. 論証方法や結論の妥当性と意義 (Appropriateness and Significance of Demonstrational Process and Conclusion)

問題設定、分析、結果、考察までの論旨が明確でありかつ一貫していること。

The point of an argument of the thesis including the research subject, analyses, results, and discussion must be consistent and clear.

5. 論文構成・表現・表記法の適切性 (Appropriateness of Construction, Expression and Notation of Thesis)

学術論文としての語句の使い方や文章表現が適切であること。

Appropriate expressions must be used for the thesis as an academic paper.

6. 学術的または社会的な貢献 (Contribution to Academia or Society)

学術的に一定の新規性または独創性があるか、または社会の要請に答える可能性を持っていること。

The thesis must include the contents that show originality, creativity, or possibility of meeting social demands.

**博士後期課程 学位論文審査基準**

**Evaluation Criteria for Doctoral Thesis**

次の事項を全て満たしていること。

All of the following requirements must be satisfied.

1. 課題設定の明確化 (Definition of Issues)

明確な問題意識とそれを解決すべく研究の意義および必要性が述べられていること。

Accurate awareness of the issues as well as the purpose and necessity of the research to solve the issues must be mentioned in the thesis.

2. 先行研究・資料の取扱いの適切性 (Proper Treatment of Preceding Studies and Data)

当該分野の先行研究・資料の把握と言及に加え、それを踏まえた研究の位置づけがはっきりしていること。

Previous studies and data in the relevant research filed and positioning of this study in the field must be mentioned in the thesis with clear and correct understanding of them.

3. 研究方法の妥当性 (Appropriateness of Research Method)

研究の目的に適した研究方法が用いられていること。

Proper methods for attaining the research purpose must be used.

4. 論証方法や結論の妥当性と意義 (Appropriateness and Significance of Demonstrational Process and Conclusion)

問題設定、分析、結果、考察までの論旨が明確でありかつ一貫していること。

The point of an argument of the thesis including the research subject, analyses, results, and discussion must be consistent and clear.

5. 論文構成・表現・表記法の適切性 (Appropriateness of Construction, Expression and Notation of Thesis)

学術論文としての語句の使い方や文章表現が適切であること。

Appropriate expressions must be used for the thesis as an academic paper.

6. 学術的または社会的な貢献 (Contribution to Academia or Society)

学術的に新規性または独創性があるか、または社会の要請に答える可能性を持っていること。

The thesis must consist of the contents that show originality, creativity, or possibility of meeting social demands.

## 熊本大学大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻機能創成エネルギー講座 「学位授与の方針」

### 博士前期課程(情報電気電子工学専攻)

#### 1. 学位授与の要件

当該課程（標準修業年限2年）において、専門科目30単位以上（必修8単位、選択22単位以上）および大学院教養教育科目1単位以上の合計31単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験（口頭試問など）に合格すること。

ただし、在学期間については、優れた研究業績をあげた者は、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

学位審査は、主査1名、副査2名以上により構成される審査委員会により行われ、その報告を受けて本研究科教授会での審議によって最終判定される。

#### 2. 修得すべき知識・能力

##### 1. 高度な専門的知識・技能及び研究力

- ・情報電気電子分野の高度専門知識を持っている。
- ・修士論文作成を通じて、自発的探求心、論理的思考能力、課題発見・解決能力、表現能力を修得している。

##### 2. 学際的領域を理解できる深奥な教養力

- ・大学院教養教育科目、インターンシップ、プロジェクトゼミナールなどを通じて、多様な分野に対応できる柔軟性を修得している。

### 3. グローバルな視野と行動力

- ・国内外での学会発表を通じて、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を修得している。

### 4. 地域社会を牽引するリーダー力

- ・産学連携の研究テーマの遂行、インターンシップにおける実践経験などを通して、地域産業への理解を深め、実践力、社会性により地域社会に貢献できる。

## 博士後期課程

### 1. 学位授与の要件

当該課程（標準修業年限3年）において、「プロジェクトゼミナール（4単位）」を含めて、本専攻の授業科目、全専攻共通科目、および連携講座の授業科目から12単位以上を修得し、かつ学位論文の審査および最終試験に合格すること。ただし、在学期間については、優れた研究業績をあげた者は、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

1年次においては、主任指導教員を含む3名以上の教授あるいは准教授で構成される研究指導委員会の指導のもと研究テーマに沿って研究計画を立案し、研究を開始する。また、プロジェクトゼミナールなどで他研究領域の話題にも関心を持ち、自分の研究に役立てる。2年次以降も同様に研究活動を継続する。また、学術雑誌へ投稿する論文作成の準備をおこない、1年次修了までに取得可能な単位は修得しておく。2年次においては、研究成果を国内外で開催される学会やシンポジウムで発表する。これらの発表に対して受けた評価をもとに更に研究を推進させることにより、論文（査読付き）として掲載されるに値する成果へとまとめる。また、研究の進展に応じ、論文を投稿する。3年次においては、博士論文のまとめを行い、指定の期日までに定められた規定に従って博士論文を執筆し提出する。

学位審査は、研究指導委員会による予備検討の後、提出された論文の内容に関係の深い学術領域の教授等2名以上および上記以外の学術領域の教授1名以上により審査委員会を構成して行われその報告を受けて本研究科教授会での審議によって最終判定される。一連の研究活動を独自の力で遂行できると判断された者に対し、学位が授与される。

### 2. 修得すべき知識・能力

#### 1. 高度な専門的知識・技能及び研究力

- ・幅広い領域を包含するエネルギー工学関連分野の高度専門知識を持っている。
- ・学会誌への論文投稿、研究成果や討論などにより、自発的探求心、論理的思考能力、課題発見・解決能力、表現能力を修得している。

#### 2. 学際的領域を理解できる深奥な教養力

- ・プロジェクトゼミナールなどの研究主導型の教育科目により、多様な領域に幅広く対応し、かつ新たな研究分野を開拓できる能力を修得している。

### **3. グローバルな視野と行動力**

- ・海外先進大学の教員による指導、国際学会での論文発表、海外インターンシップなどにより、英語による十分なコミュニケーション能力を備え、世界的に活躍しうる国際的感覚を有している。

### **4. 地域社会を牽引するリーダー力**

- ・産学連携の研究テーマの遂行、国内外のインターンシップにおける実践経験などを通して、地域産業への理解を深め、グローバルな視点で高度な専門知識を地域社会に還元するリーダーシップを修得している。